

日本海学 シンポジウム

「海と祭り —祭りから知る日本海—」

令和4年 2月12日(土) 13:30~16:30

北日本新聞ホール
(富山市安住町2-14 北館2階)

入場無料

オンラインでの参加も可能です

基調講演

「海域の芸能と祭りの諸相 —奄美・西海と日本海を中心に—」

講師：笹原 亮二 (国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授)

パネルディスカッション

「海と祭り—祭りから知る日本海—」

コーディネーター：秋道 智彌 (山梨県立富士山世界遺産センター 所長、日本海学推進機構 会長)

パネリスト：笹原 亮二 (国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授)

経沢 信弘 (郷土史研究者・郷土料理研究者)

松島 吉信 (富山県文化財アドバイザー)



2019年10月に「世界で最も美しい湾クラブ」の世界総会が日本で初めて富山県で開催されました。

「世界で最も美しい湾クラブ」とは…

フランス・ヴァンヌ市に本部を置く非政府組織(NGO)で、世界遺産のフランス・モンサンミッシェル湾、ベトナム・ハロン湾など、名立たる湾が加盟し、湾を活用した観光振興と資源の保全を目的に活動しています。(1997年設立)

日本海学 シンポジウム

「海と祭り — 祭りから知る日本海 —」

令和4年 2月12日(土) 13:30~16:30

北日本新聞ホール

入場無料

(富山市安住町2-14 北館2階)

オンラインでの
参加も可能です



※なるべく公共交通機関をご利用ください。
※富山駅より徒歩10分、または市内電車「県庁前」電停より徒歩1分

お申し込み方法

●はがき・電話・FAXまたはE-mailにより、以下を明示のうえ、下記までお申し込みください。

- ① 氏名
- ② ご連絡先 (日中に連絡可能なもの)
- ③ 受講方法 (「会場」又は「オンライン」)
※どちらを希望されるか必ず明示ください。
- ④ オンラインで受講の場合はE-mailアドレス
※オンラインでの受講申込者には受付後に設定方法等をお知らせします。

●日本海学推進機構HPからもお申し込みいただけます。

●申込期限：2月9日(水)まで

お問い合わせ先

日本海学推進機構

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 (富山県観光振興室内)

TEL 076-444-9690 (直通)

FAX 076-444-4404

E-mail adm@nihonkaigaku.org

HP▶<http://www.nihonkaigaku.org/>



MAKE
TOYAMA
STYLE

BEYOND CORONA, WITH US

新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮して開催いたします。

基調講演 13:40~14:40

海域の芸能と祭りの諸相 —奄美・西海と日本海を中心に—

講師：^{さき}原 ^{りょう}亮 ^じ二

(国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授)

専攻は民俗学、民俗芸能研究。著書に『三匹獅子舞の研究』(思文閣出版 2003年)、共著に『ハレのかたち 一造り物の歴史と民俗』(岩田書院 2014年)、編著に『口頭伝承と文字文化 一文字の民俗学 声の歴史学—』(思文閣出版 2009年)、共編著に『造り物の文化史 一歴史・民俗・多様性』(勉誠出版 2014年) など。



パネルディスカッション 14:55~16:30

海と祭り —祭りから知る日本海—

コーディネーター：^{あき}道 ^{とも}智 ^む彌

(山梨県立富士山世界遺産センター 所長・日本海学推進機構 会長)

京都府生まれ。京都大学理学部動物学科卒業、東京大学大学院理学系研究科人類学専攻博士課程修了。理学博士。国立民族学博物館民族文化研究部長、総合地球環境学研究所副所長、研究推進戦略センター長を経て現職。現在、日本海学推進機構会長。海洋政策研究所特別研究員。専門は、生態人類学。海洋と人類の多様な問題を多角的な視点から調査・研究している。近著としては、『明治～昭和前期 漁業権の研究と資料』(全2巻) (臨川書店 2021年)、『疫病と海』(共編著、西日本出版社 2021年)、『富山湾 一豊かな自然と人びとの営み』(共編著、桂書房 2020年)、『たたきの人類史』(玉川大学出版部 2019年) ほか多数。



パネリスト：^{さき}原 ^{りょう}亮 ^じ二 (国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授)

パネリスト：^{つね}沢 ^{のぶ}信 ^{ひろ}弘 (郷土史研究者・郷土料理研究者)

富山県魚津市生まれ。1980年に渡米し、ニューヨークの日本料理店で指導を行う。世界各地に出向き料理を提供する。日本海文化悠学会会員、野外調査研究所・主席研究員。著書に、『古代越中の万葉料理』(桂書房 2017年)、『大門素麺』(桂書房 2019年) がある。



パネリスト：^{まつ}島 ^{よし}吉 ^{のぶ}信 (富山県文化財アドバイザー)

富山県魚津市生まれ。東北大学文学部史学科(考古学専攻)卒業後、富山県教育委員会に文化財保護の専門職として勤務。「白川郷・五箇山の合掌造り集落」など世界文化遺産、国宝「瑞龍寺」や重要文化財「勝興寺」など有形文化財、ユネスコ無形文化遺産「高岡御車山」など民俗文化財や無形文化財の保存と活用に従事した後、富山県知事政策局等でふるさと歴史・文化に関する施策の推進を担当し、令和3年3月に退任。現在は富山県文化財アドバイザー。主な研究論考は、『北陸を舞台とした二千年前の出来事』(1985年)、『蓮如と出会った越中』(2000年)、『北前船と富山 一研究の歩みと町並み散策—』(2019年) など。



ご来場の際の注意事項

- 会場受付にて検温、手指の消毒、名簿確認などを実施します。
※検温の結果、37.0℃以上の発熱や風邪の症状等の不調がある場合は、入場できませんのでご了承ください。
- 会場ではマスクをご着用ください。
- 発熱や咳・だるさなど体調がすぐれない場合は来場をお控えください。
- 会場内では、密にならないよう、人との間隔は1m以上(できるだけ2m)の確保をお願いします。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の事前インストールにご協力ください。

iPhoneの方は
こちら



Androidの方は
こちら

